

以森伝心

理事長 柏原康夫 筆

公益社団法人 京都モデルフォレスト協会情報誌「以森伝心」 第17号 2012年8月

17

京都の森を守り育てる運動に参加しませんか



今春、京都府立林業大学校開校！

森林のなかまたち「森林ボランティア フォレスターうじ」

知ってあんしん！ フィールド安全講座「スズメバチの危険と対策」

森林に生かされる人々「炭焼き職人 桑原稔さん」



今春、京都府立

今春4月に、西日本で唯一の林業専門の大学校が開校しました。

林業大学校には、2年間大学校に在籍する「森林林業科」のほか、就職希望者や府民などを対象とした短期講座の「研修科」があります。

「森林林業科」には、林業の第一線で活躍する人材を育成する「林業専攻」と、幅広い地域活動を支える人材を育成する「森林公共人材専攻」があります。



どんなことが学べるの？

大学校では、森林・林業の基礎から経営管理、実践的な技術、知識を身に付けるためのカリキュラムを組んでいます。例えば、高性能林業機械を使った授業や、林業先進地事例を学ぶ授業、公共政策に係る専門的な知識を学ぶ授業など、各現場において即戦力として活躍するために必要な様々な実習や講義が行われます。



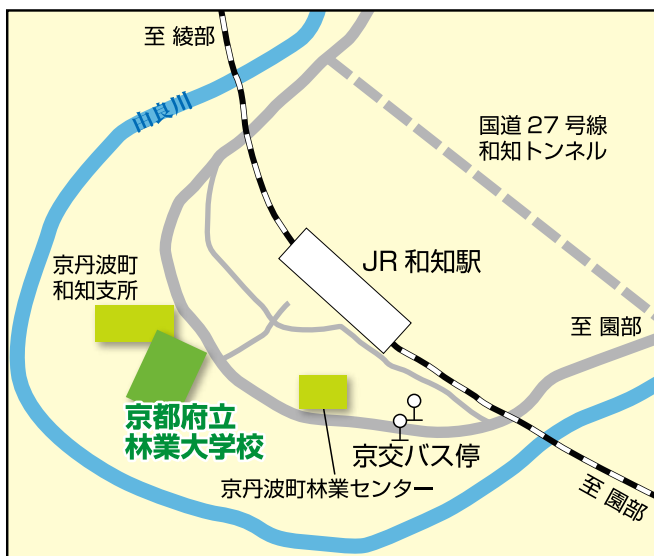
チェーンソーの実践的な実習



修復中の東寺を見学



高性能林業機械が導入されている現場で実習



林業大学校ってどこにあるの？

大学校がある京丹波町は京都府のほぼ中央部、丹波高原に広がる自然豊かな農山村です。町全体の約83%を森林が占め、この間を縫って田畑が広がっています。学校はJR山陰線「和知駅」から徒歩3分のところにあります。



京都府立林業大学校

〒629-1121 京都府船井郡京丹波町本庄土屋1番地
TEL: 0771-84-2401 FAX: 0771-84-0797
e-mail: kyo-rindai@pref.kyoto.lg.jp

林業大学校

開校!



森林の構造を学ぶ



伝統的な建築技術を学ぶ



どのような学生が学んでいるの?

初年度の今年、「森林林業科」には一期生として21名が入学しました。全国の高校や大学を卒業した10代、20代が大半を占めています。ほとんどの学生が林業に足を踏み入れるのは初めて。約半数の学生が京丹波町内から通っています。

入学するにはどうすればいいの?

毎年、秋から冬にかけて「推薦入学試験」「一般入学試験」を実施します。出願資格は、高等学校もしくは中等学校教育の卒業生(卒業見込み含む)又はこれらと同等以上の学力があると認められる者となっています。ただし、「林業専攻」は、平成25年4月1日現在で40歳未満の者。詳細は林業大学校までお問い合わせください。



平成25年度入学募集要項

●募集人員等

森林林業科 20名

●募集方法及び日程

入学者の選考は、推薦入学試験及び一般入学試験による選考とし、次の日程により実施します。

《推薦入学試験》

出願期間：平成24年10月1日(月)～10月22日(月)

実施日：平成24年11月2日(金)

《一般入学試験》

◎前期 出願期間：平成24年11月30日(金)～12月21日(金)

実施日：平成25年1月15日(火)

◎後期 出願期間：平成25年1月25日(金)～2月15日(金)

実施日：平成25年2月22日(金)



京都府内には森林整備や保全活動に関わる NPO や団体がたくさんあります。今回は「森林ボランティア フォレスターうじ」を紹介します。事務局長の木曾さんにお話をうかがいました。

森林ボランティア フォレスターうじ

フォレスターうじは、「森を知る、楽しむ、守りぞでてる」をスローガンに京都府宇治市の天ヶ瀬森林公園を中心に活動する森林整備ボランティア団体。現在の会員数は 66 名。



事務局 〒611-0023 宇治市折居台 2-1-5 木曾方 TEL: 0774-23-2886

連携やネットワークを強めることで 新たな力が生まれる

活動をはじめて 15 年が経ちます。団体を立ち上げた当初のメンバーは数えるほどしかいませんが、入れ替わりながらも持続して活動しており、いまでも月に 1 回活動(植



天ヶ瀬森林公園での間伐

林や鳥獣害対策、森林の手入れなど)をしています。メンバーは個性豊かな方が多く、話し合いの場ではいろいろな意見が出て、なかなか結論がでないこともあります。お互いの意見を尊重し、活動の方向性を決めています。

お互いの得意分野から知恵を出し合う



森なかま代表 内海貴州

森なかまは山林作業をする京都府立大学の山仕事サークルで、普段の活動は京都府立大学附属演習林で森林整備や炭焼きを行っています。

フォレスターうじと共同作業をはじめた当初は、お互いどのように進めていけばよいのか戸惑いもありましたが今ではお互いの得意分野がわかってきたので、世代を超えた連携の中でお互いの知恵を出し合っています。フォレスターうじの皆さんは本当に山仕事が好きで活発な方ばかりで、森仕事の先輩としてはもちろんですが、人生の先輩としても学ばせていただくことが多いです。



世代を超えて連携しているフォレスターうじと森なかま

私たちは地道に活動してきただけで、森林管理に関するプロの技術はないですが、最近ではモデルフォレスト活動をしている企業や森林ボランティア活動団体との連携、海外からの視察のお話も増えてきました。また、京都府立大学の森林ボランティアサークルの「森なかま」と連携し、世代を超えた交流も 4 年目を迎えています。毎年彼らとともに、7 月に府立山城総合運動公園で行われる「京都大作戦」という音楽イベントで、緑の募金を募り、集まった募金で苗木を購入し、天ヶ瀬森林公園内にある「京都大作戦の森」に植栽します。彼らは大学で森林系の学科で学んでいるので、こちらが勉強させてもらうことも多く、何より活発な若い力をもらっています。

これからは、それぞれの団体での活動をベースとしながらも、同じ志を持ったほかの団体との連携やネットワークを強めていくことも重要かと考えています。そうすることで、個々だけではできなかった大きな力が生まれ、モデルフォレスト運動としての取り組みにも貢献できる可能性が高まるのではないかと思います。

「森林ボランティア フォレスターうじ」
きそむねはる
事務局長 木曾 宗統



上/京都大作戦にて、森なかまと共に募金活動を行った
下/天ヶ瀬森林公園でのイベントで木工教室を開催

京都モデルフォレスト協会 平成 24 年度 定時総会



上／京都モデルフォレスト協会理事長・
柏原氏
右／京都府知事・山田氏

5月14日(月)、京都ガーデンパレスにおいて定時総会が開催されました。

柏原康夫理事長冒頭の挨拶では、発足5年でモデルフォレスト運動が府内各地に広がったことへの感謝の意と、横の連携の必要性、府立林業大学校への期待など、今後の展望を述べられました。

また、顧問挨拶として山田啓二京都府知事が、モデルフォレスト運動のセカンドステージへの期待を語られました。

その後、古田裕三氏を議長に選出し、平成23年の決算が承認され、平成23年度の事業および24年度の事業計画・収支予算が報告されました。



記念講演報告

総会に続く記念講演では、本年4月に開校した京都府立林業大学校の只木良也校長から、「森林づくりとこれからの人材育成」と題してご講演をいただきました。

〈ご講演の要約〉

京都府の森林面積は府全体の75%を占めており、森林面積率も全国10位となっている。京都府は森林率の高い県と同様に鳥獣害などの悩みを持つ一方、景観面からも都市部の緑を守らなければならない悩みもある。また、森林は生物多様性を維持し、二酸化炭素を吸収する大切な働きを担っているが、京都においてはさらに森林が文化を培ってきた。モデルフォレスト協会が設立されているのは日本で京都だけだが、森林への意識が高く大変意義のあることだ。



林業大学校では技術の養成だけでなく、自然の摂理や仕組みを理解し、林業に携わることのできる人材の育成を目指している。また、林野庁が掲げる「森林・林業再生プラン」に応える人材を生み出したい。そして将来、地域リーダーとして林業を牽引してくれることを期待している。高性能林業、鳥獣害問題、森林と文化など、学ぶことも多く、生徒たちは周囲からの大きな期待を感じている。本日参加の皆様には、夢に向かって歩み始めた生徒たちを応援し、協力してもらいたい。

自然を愛する人は多いが、自然の偉大さを理解し尊敬できる人は少ない。林業大学校では、尊敬をもって自然の摂理を生かせる人材を育てていきたい。



知ってあんしん！ フィールド安全講座

第1回 スズメバチの危険と対策

夏から秋にかけては間伐などの伐採作業やハイキングやレジャーで森林へ出かける人も多いでしょう。

この頃の森林で注意しなければいけないのが、スズメバチ。

秋はスズメバチの食糧である昆虫が減少するため、攻撃性が高まります。

スズメバチの危険性

スズメバチのうち危険度の高い「キイロスズメバチ」と「オオスズメバチ」。軒下などに大きな巣を作るキイロスズメバチは、強い攻撃性を持ちます。一方、オオスズメバチは土の中や樹洞など閉鎖空間に巣を作り、大型で強力な毒を持っています。森林で注意すべきは、このオオスズメバチです。土の中の巣に気づかず、刺激してしまう可能性があるからです。

スズメバチに刺されてしまうと、「アナフィラキシーショック」というアレルギー反応により死に至る場合があります。一度刺されると、体内に抗体ができ、二度目に刺された時、抗体が毒に激しく反応し、強いショック症状を起こします。一度刺されただけでも、アレルギーを起こす可能性があり、反応は早ければ数分で現れます。症状はじんましんやめまい、呼吸困難、嘔吐など、呼吸器や消化器も影響します。

スズメバチに対する対策と対処法

スズメバチに刺されないために、準備できる対策があります。一つ目は香水や香りの強いヘアスプレーなどを付けないこと。スズメバチは匂いに敏感に反応します。二つ目は、黒っぽい服を着ないこと。スズメバチは黒っぽいものに反応します。黒髪を隠すため、帽子を被る方がよいでしょう。三つ目は、刺されたときのために、毒を抜くポイズンリムーバーと、抗ヒスタミン剤を含有した軟膏を持参しましょう。ポイズンリムーバーはアウトドアショップで購入が可能です。



では次に、スズメバチに遭遇した時の対処法です。スズメバチが周囲を飛び回ったら、身を低くして静かに去りましょう。スズメバチは振動に敏感です。払いのけたりすると、攻撃されていると勘違いしてさらに反撃してきます。落ち着いて行動し、スズメバチを刺激しないことが大切です。カチカチと音を鳴らし始めると、巣の中の働きバチへ「攻撃に参加しろ!」との合図なので、とにかく落ち着いてその場を離れましょう。刺されたときは、ポイズンリムーバーで毒を抜き、塗り薬を塗った後、速やかに病院へ行きましょう。

大きなスズメバチを前にパニックを起こさず対処することは容易なことではないでしょう。しかししっかり準備をし、冷静に行動することができれば、被害を最小に抑えることができます。森林へでかける際には、心も荷物も準備万端の状態でごかけましょう。

	オオスズメバチ	キイロスズメバチ
		
	撮影：田中 利秋氏	
全長	女王バチ 40～45mm、働きバチ 27～40mm	女王バチ 25～28mm、働きバチ 17～24mm
特徴	スズメバチの中で最大の種	全体に黄色っぽく、日光が当たるとオレンジ色に見える
巣の場所	地中や樹洞などの閉鎖的な場所	軒下や木の枝などの開放的な場所

もり 森林に生かされる人々

森林からの恩恵を受け、森林とともに生活している人たちを訪れ、その生業や暮らしを紹介します。

炭焼きをしながら、 自給自足の生活を目指す

桑原 稔さん（炭焼き職人）

京丹後市丹後町上山で炭焼きを行う桑原稔さん。平成2年に京都市から移住し、自給自足の生活を目指しながら、自ら炭焼窯を造り上げ、現在は炭を出荷するまでに至っている。炭焼窯は、黒炭用の大きなものと白炭用の小さいものの2窯。

黒炭は、400～700度で炭化した後、窯口を粘土で密閉する。窯の中の火が消え、蒸し焼き状態で窯の中の温度が下がるのを待ち、窯口を開けて炭を取り出す。ゆっくり焼き上げるので、火付けの良い炭になる。

一方白炭は、炭焼きの仕上げ段階で窯に空気を入れ、1000度以上の高温で炭を焼き上げる。真っ赤な状態で取り出し、炭と土を混ぜた消粉をかぶせて、自然に冷ます。できあがった炭には白い灰が付くので、白炭と呼ばれる。炭質が硬く、たたくと金属音がする。ウバメカシを原料とする備長炭がよく知られる。火力が強く、火持ちがいいのが特徴。

桑原さんの良質の炭は、クチコミで全国の料理屋さんなどから注文が来る。「安価の炭のほとんどは外国から輸入されたもので、一気に燃えて火持ちが悪く、本物の炭とは言えない。しかし、それが炭であると多くの人は誤解している。我が国



の炭文化は、一旦途絶えた」と嘆く。実際、丹後地方でも、10年前には12～13人いた炭焼きが、今では2～3人に減った。そんな現状の中、炭焼きをリタイヤした人たちも含めて丹後炭生産者の会を立ち上げ、炭文化の普及啓発などを担うアンテナショップ『丹後炭の店』を出店するとともに、炭焼き後継者を募る活動にも取り組んでいる。



出荷を待つ桑原さんの「作品」丹後の炭

「農作物を自給自足すれば、炭焼きだけでも充分生活はできるのだが」と桑原さんは、定住して後継してくれる若者が現れることを願っている。（宮本 博司）



左が白炭用、右が黒炭用

『丹後炭の店』

〒629-2303

与謝野町字石川 946

■営業時間

09:00～12:00

13:30～17:00

（月曜日定休）

■TEL: 0772-43-0683



《レポートを終えて》

別れ際に、庭のスモモを採って「帰りの車の中でお食べください」と手渡してくれた奥様の節子さん。お二人の20年余りの歳月と山暮らしが偲ばれました。おいしいお土産をありがとうございました。（森 稔）

活動報告

龍谷大学と協定を締結

3月23日、龍谷大学が、環境問題や社会貢献活動を実践的に学ぶ講義の一環として行う天王山周辺の森林づくりを実施するにあたり、活動が円滑に推進できるよう、大山崎町及び当協会と協定を締結しました。



株式会社京都銀行と協定を締結

4月20日、株式会社京都銀行が、モデルフォレスト運動の推進と森林の公益的機能の増進を図るため、京都大学及び京都産業大学と連携して本山国有林をフィールドに行う森林づくり活動について、京都府及び当協会と協定を締結しました。

また、この協定に先立ち、本山国有林を管理する近畿中国森林管理局と当協会との間で、本山国有林の利用に関する協定を締結しました。



「新緑祭」を開催

5月3日～5日、府民の森ひよしで、緑にふれあい学ぶための参加型行事『新緑祭』を開催しました。

3日間で延べ約2,500人が「府民探鳥会」や「新緑散策ツアー」、「ツリークライミング」などのイベントに参加し、新緑を満喫しました。



「京の七タ」関連イベントを実施

6月30日、京都大学桂キャンパス内の竹林の竹を、新しい京都の夏の風物詩『京の七タ』で有効活用、地域の環境保全を図ろうと、企業や学生のボランティアや京の七タ実行委員会事務局のメンバーら約50名が、約30本の竹の伐採と搬出を行いました。

また、搬出された竹は堀川会場において、天の川をイメージする巨大アーチ「光の天の川」として使用され、多くの観光客を魅了しました。



「京都大作戦」で募金活動を実施

7月7日、8日の両日、宇治市太陽ヶ丘で行われた音楽イベント『京都大作戦2012』(FM京都主催)において、当協会会員の森林ボランティア団体「フォレストーうじ」「森なかま」の皆さんと一緒に緑の募金活動を行いました。

緑化運動・愛鳥週間ポスターコンクール表彰式

8月17日、京都市のイオンモール京都五条において、緑化運動ポスターコンクール、愛鳥週間ポスターコンクールのそれぞれ上位入賞者(各12点ずつ)の表彰式が行われました。

今年度は、府内全域の小学校、中学校、高等学校、特別支援学校から両コンクールにあわせて2,973点もの応募をいただきました。



発行：公益社団法人 京都モデルフォレスト協会

入会案内資料をご希望の方は、ご連絡ください。

〒602-8054 京都市上京区出水通油小路東入丁子風呂町 104-2 府庁西別館内

TEL & FAX 075-414-1270 E-mail kyomori@kyoto-modelforest.jp

URL <http://www.kyoto-modelforest.jp>

2012年8月発行

編集・デザイン：自然堂(じねんどう)株式会社



この印刷物は、有害な廃液を排出しない水なし印刷を採用しています。また、大豆油インキを包含した植物油インキと適切に管理された森林の木材を利用したFSC認証用紙を使用しています。